

地域子供の未来応援交付金交付申請とりまとめ表(第3回)

都道府県名	市区町村名	事業概要
(1)実態調査・分析、支援ニーズに応える資源量把握及び支援体制の整備計画策定		
東京都	日野市	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生から各1,500世帯ずつ抽出した3,000件を対象に、子育て、教育、生活、就労、経済的支援、市の制度等についてアンケート調査を実施し、市内の地域別に集計・分析。 ・庁内関係課、教育機関、大学ボランティアサークル等を対象に、現存する地域の資源量や今後必要となる資源量の見込み等をヒアリングし把握。 ・健康福祉部、子ども部、企画部、市民部、教育部等の長、学識者、子どもの貧困対策に関する活動を行う者(社会福祉法人等)、民生・児童委員、小・中学校長、公募市民等で構成される日野市子どもの貧困対策協議会や、同協議会の作業部会である日野市子どもの貧困対策庁内連絡会(商工会及びNPO法人を所管する産業振興課・企画経営課・健康福祉部等を含む)において、基本方針(整備計画含む)を作成。
大阪府	能勢町	<ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生から中学3年生の全児童・生徒約450件及び3歳児から中学3年生の全保護者約750件を対象に、世帯構成、経済状況、住居の状況、起床・就寝時間、放課後の過ごし方、相談相手、進学希望、心の状態等についてアンケート調査を実施。 ・小中学校、保育所、社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、ボランティア団体、庁内関係課等を対象に資源量についてヒアリング等を実施。 ・警察、医療機関、民生・児童委員協議会、PTA協議会、ボランティア団体(子育て支援)、小中学校・高等学校の関係者、学識経験者、子ども家庭センター等で構成される能勢町子ども・子育て会議の意見を踏まえ、福祉、労働、教育担当部局や関係機関で構成される庁内調整会議において、整備計画を策定。
福岡県	うきは市	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校12校の児童・生徒約2,300人に関し、教師(クラス担任)に対して児童の食事、衛生、健康、家族、学校生活等についてアンケート調査を実施。その結果を分析後、必要に応じて具体的事情のヒアリングを行う。 ・認定こども園、幼稚園、高等学校の保育士や教師、子育て支援センター、市役所子育て関係部署(福祉事務所、保健課、学校担当)を対象としたヒアリングや、その他福祉機関、教育機関、企業、自治会等を対象に調査を実施し、資源量等を把握。 ・行政、福祉、教育、企業、自治会の代表者、有識者等で構成される策定委員会において、整備計画を策定。
福岡県	八女市	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前児童保護者約500件、小中学生保護者約1,000件、中学生約500件の計2,000件を対象に、家族構成、就労状況、生活状況、子どもとの関わりや地域関係の状況、行政支援施策の利用状況、支援ニーズ、学習状況、自己肯定感等について、アンケート調査を実施。 ・保育園、小学校、中学校、高校、母子社会福祉施設、子育てに関わるNPO、学童保育等の実務者を対象に、現存・必要資源量等についてヒアリングするとともに、市が保有する統計データや子育て支援事業を整理・再分析。 ・行政区長会、民生委員・児童委員、子ども会育成会、小中学校PTA等で構成されるまちづくり協議会の代表者、民生委員児童委員連絡協議会の代表者、子育て支援に関し知識・経験を有する者、保育所、小中学校等の保護者や職員等で構成される計画策定委員会において、整備計画を策定。